

香取地域の水稲栽培の省力化に向けて

～令和6年度香取地域水稲現地検討会を開催～

香取農業事務所改良普及課 令和6年8月19日発

農業事務所では、7月29日(月)に香取合同庁舎及び現地水田において、規模拡大が進む水稲生産者の作業省力化を推進するため、香取地域水稲現地検討会を開催しました。水稲生産者45名が参加しました。

講習会では、県担い手支援課、シンジェンタジャパン株式会社及び株式会社関東甲信クボタから講師を招き、直はの栽培方法について説明していただきました。現地視察では、湛水直はの新しいコーティング資材である「リゾケアXL」を使用したほ場で生育を確認し、生産者と意見交換しました。

「規模拡大に伴い直はに興味があり、今回の研修で理解が深まった」と参加者からの声がありました。また、来年度以降に「リゾケアXL」を用いた省力化技術の導入を検討する参加者もあり、今後の普及拡大が期待されます。



講習会の様子



現地ほ場の様子